

令和7年1月10日

保護者の皆様

津山市立佐良山小学校
校長 溝口 誠子

令和6年度 学校評価アンケート結果について

厳寒の候、皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、11月に実施いたしました、児童ならびに保護者学校アンケートの結果についてご報告いたします。アンケート結果や、記述欄にご記入いただいたたくさんのお褒めの言葉やご意見につきましては、今後の学校運営の見直し等に関わる貴重な資料として活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

児童アンケート集計結果

令和6年11月実施

	4. よくあてはまる 2. あまりあてはまらない	3. だいたいあてはまる 1. まったくあてはまらない	4	3	2	1	肯定群
1	授業中、先生の話をよく聞いている。		39%	47%	11%	2%	86%
2	チャイムと同時に学習のスタートができています。		38%	52%	9%	1%	90%
3	先生の授業は分かりやすい。		65%	24%	7%	3%	90%
4	授業の中で調べたり、まとめたりしようとしている。		32%	40%	21%	7%	72%
5	授業の中で自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりしている。		42%	35%	21%	2%	77%
6	クロームブックを毎日使っている。		23%	36%	37%	4%	59%
7	宿題は忘れずにする。		50%	32%	12%	6%	82%
8	自主学習をよくがっばっている。		35%	29%	25%	11%	64%
9	よく読書をする。		32%	23%	27%	18%	56%
10	学校はとても楽しい。		52%	25%	15%	7%	78%
11	困ったことは、先生に相談している。		34%	27%	22%	18%	60%
12	あいさつをよくする。		50%	36%	11%	3%	86%
13	言葉づかいに気をつけている。		33%	40%	20%	7%	73%
14	そうじの分担を最後までがんばっている。		58%	30%	10%	3%	87%
15	友だちとなかよくしている。		75%	23%	1%	1%	98%
16	テレビやゲーム、インターネットの時間を決めて遊んでいる。		42%	24%	17%	17%	66%
17	将来やりたいことや夢をもっている。		58%	16%	16%	10%	74%
18	自分には、よいところがある。		29%	42%	17%	12%	71%
19	周りの人からほめられる。		26%	42%	18%	14%	68%
20	自分だけだれかの役に立っている。		23%	28%	27%	21%	52%

保護者アンケート集約

令和6年11月実施

		4. よくあてはまる 2. あまりあてはまらない	4. だいたいあてはまる 1. まったくあてはまらない	4	3	2	1	肯定群
学 校	1	学校は教育方針をわかりやすく伝えている。(学校だより、HPなど)		30%	64%	6%	0%	94%
	2	学校は人間性豊かで実践力のある子どもに育てようとしている。		24%	66%	8%	1%	90%
	3	学校は保護者や地域に対して「開かれた学校づくり」に努力している。		28%	65%	6%	1%	93%
	4	学校の職員は学習の基礎基本の徹底を図る取組をしている。(朝学習・授業・家庭学習など)		28%	65%	7%	1%	92%
	5	学校の職員は分かりやすく授業を進めている。		34%	63%	3%	0%	97%
	6	学校は子どもにとって楽しい場になっている。		36%	55%	8%	1%	91%
	7	学校の職員は子どもの言葉遣いや行動をきちんと指導してくれる。		27%	61%	8%	4%	88%
	8	学校の職員は子どもの良さや努力を認めてくれる。		43%	48%	8%	1%	91%
	9	学校の職員は子どもの事について相談をすれば真剣に応じてくれる。		45%	48%	5%	2%	93%
	10	学校の職員は子どもや学級の様子をよく知らせしてくれる。(学年・学級通信、連絡帳、電話等)		41%	45%	10%	3%	87%
	11	学校の職員はけがや病気などをした時、ようすを連絡してくれる。		51%	44%	3%	3%	95%
	12	学校は子どもの安全や事故防止に配慮している。		32%	60%	6%	1%	92%
	13	学校は施設・設備を活用し、教育環境を整えている。		28%	67%	4%	1%	95%
	14	学校は緊急事態(大雨・暴風・大雪・台風・不審者等)発生時の対応をよくしている。		51%	48%	1%	0%	99%
家 庭	15	学校からの配付文書や連絡はよく見ている。		26%	67%	7%	0%	93%
	16	学校行事等にはつとめて参加するようにしている。		24%	63%	11%	3%	87%
	17	子どもの話をよく聞くようにしている。		33%	63%	4%	0%	96%
	18	子どもの良いところをほめている。		26%	68%	4%	1%	94%
	19	子どもの家庭学習(宿題等)の確認をしている。		19%	49%	28%	4%	68%
	20	「学年×10分+10分」の学習時間を確保できるよう、声をかけている。		8%	32%	47%	13%	40%
	21	子どもに読書を勧めている。		14%	32%	38%	16%	46%
	22	生活習慣(テレビやゲームの時間・身支度など)が身につくよう努めている。		13%	66%	17%	4%	79%
	23	家族や周りの人にあいさつをするように声を掛けている。		38%	58%	3%	0%	97%
	24	子どもの言葉遣いや行動についてきちんと教えている。		26%	71%	4%	0%	96%
	25	朝ごはんをきちんと食べさせている。		75%	24%	1%	0%	99%
	26	登下校時等の安全について話している。		39%	57%	3%	1%	96%
	27	佐良山小学校がコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)であることを知っている。		22%	53%	15%	11%	75%
	28	佐良山小学校がコミュニティ・スクールの活動として、学びやあいさつ、掃除に取り組んでいることを知っている。		22%	54%	14%	10%	76%

【児童アンケート集計結果より】

児童質問項目②③

学習に関する項目うち、「チャイムと同時にスタートができています。」「先生の授業は分かりやすい。」の2項目で肯定群が90%となりました。チャイムスタートは、11月より全校を挙げて取り組んでおり、児童、職員ともにその成果を実感しています。今後も定期的に意識づけを行うことで、更なる定着を目指します。休み時間と授業時間の切り替えが素早くできることと、分かりやすい授業を行うことにより、全ての児童にとって充実した授業にしたいと考えています。

児童質問項目⑮「友達となかよくしている。」(肯定群98%)

友達と過ごす時間は、授業時間と同様かそれ以上に子ども達にとって重要なものです。多くの児童が友達との学校生活を肯定的に評価していることに大変うれしく思います。

児童質問項目⑫「あいさつをよくする。」(肯定群86%)

保護者アンケート「家族や周りの人にあいさつをするように声を掛けている。」も肯定群が97%と高い数値となっています。学校でも、職員による声かけはもちろん、運営委員会によるあいさつ運動等の取組を行って参りました。地域の方からも、ここ数年あいさつがよくなってきていると、お褒めの言葉をいただくこともあります。これからも気持ちのよいあいさつができる児童を共に育てていきましょう。

児童質問項目⑨「よく読書をする。」(肯定群56%)

毎週月曜日の朝読書、ボランティアの方による読み聞かせ、新書の紹介、季節や時事に応じた本の展示、図書委員会によるお勧め本のポスター掲示等、様々な取組を行って参りましたが、十分な成果に繋がっていません。引き続き児童が本に触れ、親しむ環境づくりに励んで参ります。ご家庭でも、本等の活字に触れる機会を作って頂き、共に子どもたちの読解力や集中力、感受性等を高めていきましょう。2月には本年度最後のメディアコントロール習慣が予定されています。メディアの時間を減らし、読書に取組む週間として位置付けてみてはいかがでしょうか。

(保護者 子どもに読書を勧めている：肯定群46.5%)

児童質問項目⑥「クロームブックを毎日使っている。」(肯定群59%)

学年の発達段階に応じて復習や学習のまとめ等にクロームブックを活用しています。使用頻度も学年が上がるにつれて上昇し、高学年では肯定群が85%と比較的高い値になっています。今後も発達段階に応じて、紙媒体とICT機器双方の良さを生かすことのできる最適な学習を行っていきたいと思います。

児童質問項目⑪「困ったことは、先生に相談している。」(肯定群60%)

様々な問題の未然防止・早期解決のためにも、児童が教職員になんでも話せる環境はとても大切です。教科担任制、学年担任制を取り入れ、担任以外にも児童が相談しやすい環境づくりに努めて参りましたが、未だ十分とは言えない状況です。全教職員がこれまで以上に児童との良好な関係を構築し、些細なことでも気軽に話せるよう努めて参ります。また、ご家庭でお子様の様子について気になることがありましたら、学校までお知らせください。

【保護者アンケート集計結果より】

保護者質問項目(学校)①~⑭

⑦「言葉遣いや行動の指導(肯定群88%)」、⑩「子どもや学級の様子のお伝え(肯定群87%)」は90%を下回りましたが、多くの項目で肯定群90%を超える高い評価をいただきました。この結果に満足することなく、さらによりよい学校づくりに取り組んで参ります。

保護者質問項目

⑲「子どもの家庭学習(宿題等)の確認をしている」(肯定群68%)

⑳「学年×10分+10分」の学習時間を確保できるよう、声をかけている。」(肯定群40%)

児童質問項目⑦「宿題は忘れずにする。」は肯定群が82%となっており、宿題に対する児童の意識は決して低くはありません。学年の発達段階に応じて、宿題を終えたかどうかの確認に加え、学習内容についてもお子さんと一緒に見直し等をしていただければと思います。また、児童質問項目⑧「自主学習をよくがんばっている」は肯定群が64%にとどまっています。自身の課題に応じた復習や、興味のあることへの調べ学習等に取り組めるよう、声かけや助言をしていただければ幸いです。

保護者質問項目⑳「子どもに読書を勧めている。」(肯定群46%)

児童質問項目⑨「よく読書をする。」も肯定群が56%となっており、近年の本校の課題となっています。前述の通り、本年度も様々な取組を行って参りましたが、成果に繋がっていない状況です。日々お忙しいとは存じますが、お子さんと同じ空間で本や雑誌、新聞等を読む時間を短時間でも設けていただければ、子どもたちにとって非常に有益なひと時となると思います。

保護者質問項目

㉒「生活習慣(テレビやゲームの時間・身支度など)が身につくよう努めている。」(肯定群79%)

児童質問項目⑩「テレビやゲーム、インターネットの時間を決めて遊んでいる。」では肯定群が66%となっており、保護者の方の意識と若干ずれがあるようです。11月実施のメディアコントロール週間でも、目標を達成した児童の割合は54%にとどまっています。メディアに費やす時間が増えれば、その分家庭学習や身支度、手伝いなどの時間が削られることとなります。まずは次回のメディアコントロール週間(2月)に向け、ご家庭で生活習慣についての話し合いや確認の機会を設けてください。

【保護者記述より】

○言葉遣いについて

児童の言葉遣いについてご心配の声を多数いただいております。相手を傷つけてしまう言葉については学校としても以前から大きな課題として認識しており、日々の学校生活の中ではもちろん、道徳や学級活動等の時間に指導を続けています。各ご家庭におかれましても、言葉遣いや他者に対する思いやりについて折に触れて話をしてくだされれば、指導の効果が一層現れるものと考えています。

○学力について

全国学力状況調査及び岡山県学力状況調査等の結果について、ご心配の声をいただきました。各学力調査結果から明らかになった課題に対して、それぞれの学年で計画的に取組を行っているところです。また、朝学習や余剰時数等を使っての基礎的な学習の学び直しの時間も設定しているところです。学力の向上には、授業、家庭学習、自主学習が一体となることが最も効果的です。今後も職員研修を重ね、児童一人一人が主体的に学習に向かうことができる質の高い授業を提供することで、主体的に探究したり自分自身の課題を克服したりするための自主的な学習が進むよう努めて参ります。また、ご家庭でも、前述の通り家庭学習やメディアとの付き合い方等について、ご協力をお願いいたします。

○児童への指導について

生徒指導に関わっての児童に対する指導の在り方について、ご心配の声をいただきました。指導に当たっては、事実関係を明らかにするとともに児童一人一人の思いに寄り添い、それぞれが納得のいく指導となるよう心がけて参ります。

たくさんお寄せいただいたご意見等の中から、多かったものを中心に回答させていただきました。今回、回答できなかつたご意見等につきましても、今後の学校運営に活かして参ります。